

「元禄文化」テスト練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 元禄文化と化政文化の特徴について述べた次の説明文の（ア）～（コ）に当てはまる語句を【語句】A～Uからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

元禄文化とは、江戸幕府将軍（ア）の頃である（イ）の間に起こった文化である。

元禄文化の中心地は（ウ）と呼ばれる（エ）の町である。

文化の担い手は（ウ）の（オ）で、中でも（カ）と呼ばれる裕福な人々であった。

化政文化とは、（キ）の間に起こった文化で、元号でいうと（ク）と（ケ）の頃である。

文化の中心地は（コ）の町である。

【語句】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| A：元禄 | B：武士 |
| C：天皇 | D：将軍 |
| E：江戸 | F：京都・大阪 |
| G：徳川家康 | H：17世紀 |
| I：上方 | J：公家 |
| K：17世紀末～18世紀はじめ | L：18世紀末～19世紀はじめ |
| M：19世紀末 | N：文化 |
| O：寛政 | P：町人 |
| Q：豪商 | R：天下の台所 |
| S：徳川綱吉 | T：文政 |
| U：徳川慶喜 | |

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 【ア】 | 【イ】 | 【ウ】 | 【エ】 | 【オ】 |
| 【カ】 | 【キ】 | 【ク】 | 【ケ】 | 【コ】 |



次の作品について、問2・問3に答えなさい。



問2 この作品の作者を漢字で答えなさい。

問3 この作品の説明として、正しいものを全て選び○で囲みなさい。

- ア：この作品は版画としてたくさん販売され、多くの人々に親しまれた。
- イ：このような作品は装飾画と呼ばれ、裕福な町人の間で人気があった。
- ウ：この作品は手で描かれており、一点ものとして高い価値を持っていた。
- エ：この作品の作者は、浮世絵の祖と呼ばれている。



次の作品について、問4～問7に答えなさい。



問4 この作品の作者を漢字で答えなさい。

問5 この作品と同じ作者の作品を、次の中から全て選び○で囲みなさい。

- ア：彦根屏風
- イ：燕子花図屏風
- ウ：船橋蒔絵硯箱
- エ：弹琴美人
- オ：八橋蒔絵螺鈿硯箱
- カ：保津川図屏風

問6 この作品についての説明として、正しいものを全て選び○で囲みなさい。

- ア：この作品の構図は、風神雷神図屏風の影響を受けていると考えられている。
- イ：中央の水流に描かれている紋は、この作者の特徴的な紋様として現在でも人気がある。
- ウ：この作品が描かれたのは17世紀末～18世紀はじめの間である。
- エ：この作品には螺鈿という技術が使われている。



問7 このような絵画をなんと呼ぶか、漢字で答えなさい。

問8 「日本永代蔵」を書いた作者を漢字で答えなさい。

問9 問8の人物の作品を、次の中から全て選び○で囲みなさい。

ア：奥の細道

イ：南総里見八犬伝

ウ：世間胸算用

エ：伊勢物語

オ：東海道中膝栗毛

カ：好色一代男

問10 「日本永代蔵」のような町人の風俗を題材に書かれた小説をなんと呼ぶか。
漢字で答えなさい。

問11 「曾根崎心中」の作者を漢字で答えなさい。

問12 「曾根崎心中」は何の脚本として書かれたか答えなさい。



「元禄文化」テスト練習問題と過去問まとめ（解答）

問1 【ア】S 【イ】K 【ウ】I 【エ】F 【オ】P
【カ】Q 【キ】L 【ク】N 【ケ】T 【コ】E

問2 菱川師宣

問3 ウとエ

【解説】この作品は菱川師宣によって描かれた「見返り美人図」である。菱川師宣は浮世絵の祖と呼ばれ、見返り美人図は肉筆と呼ばれる「手で描かれた一点もの」である。このような町人の風俗を描いた作品は浮世絵と呼ばれる。

問4 尾形光琳

【解説】光琳の「琳」の字を間違えないように注意しよう。

問5 イ・オ

問6 ア・イ・ウ

【解説】エの螺鈿の技術は、おなじ作者の作品「八橋蒔絵螺鈿硯箱」に使われているものである。

問7 装飾画

問8 井原西鶴

【解説】西鶴の「鶴」の字を間違えないように注意しよう。

問9 ウ・カ



問 | 0 浮世草子

問 | 1 近松門左衛門

問 | 2 人形浄瑠璃

